

厚生病院の最近の取り組み

H29.8.1 厚生病院

【運営方針】

- 地域の中核病院として、中部圏域において救急医療と一部の高度な医療を含めた標準医療を提供する。
- 患者サポート体制の充実を図る。
- 経営基盤を安定させるため、地域医療機関と連携し集患力を高める。
- 医師、看護師、薬剤師ほか各職種の確保と人材育成に取り組む。

I 人材確保と人材育成

- 臨床研修・教育センターの設置（平成 29 年 6 月 15 日）により、臨床研修医、医療技術職員の確保に向け、学生実習、病院見学の積極的な受け入れを行う。
 - ・平成 29 年 4 月より研修医向け臨床教育オープンセミナーを開催（毎月 2 回）
 - ・第 1 回厚生病院オープンホスピタルの開催（平成 29 年 7 月 22 日：看護学生 33 名、高校生 28 名参加）
 - ・看護師の確保については、看護学校訪問、サマーセミナー、インターンシップ、高校生の一泊看護体験を実施
 - ・平成 29 年度より鳥取看護大学からの実習生の受け入れを開始
- リハビリテーションスタッフを増員し、急性期リハビリテーションの早期開始のため休日リハビリテーションを実施（平成 29 年 7 月より毎土曜日に実施）

II 地域連携の推進

- 地域医療支援病院の指定に向けた取組を行う。
 - ・紹介率及び逆紹介率向上の推進
- 他病院・診療所、介護施設との継続的な情報交換による連携関係の強化を図る。
 - ・平成 29 年度において、院長が 9 病院、61 診療所、8 介護施設を訪問（介護施設の訪問は平成 29 年度より新たに開始）
- 介護事業所と連携して在宅訪問を推進
 - ・平成 28 年度において、認定看護師及び病棟看護師が 16 回患者宅訪問を実施

III 患者サポート体制の充実

- 患者本位の患者相談窓口の設置及び相談体制の整備
 - ・相談スペース・案内掲示の整備、患者相談窓口責任者の常時配置

- ・ 部署相談担当者の配置、患者サポート会議の開催

IV 経営改善

- ジェネリック医薬品の積極的な採用を進める。(目標：数量ベース80%以上)
- 診療材料SPD事業者と連携してコスト削減を進める。
- 保守料の適正化によるランニングコストの見直しを行う。
- 医師を含めた全職員のコスト意識を変革する。